
不思議な国のカルボナーラ。

シオン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不思議な国のカルボナーラ。

【Nコード】

N8056Y

【作者名】

シオン

【あらすじ】

ある日の、友達との小説リレーを元にした作品です。
テーマは「不思議な国のカルボナーラ。」です。
ジョニーがカルボナーラを作ります。

ジョニーという男がカルボナーラを作っていました。

材料はタヌキのチャールズと武田と田中でした。

チャールズはそこら辺にいたので捕まえて、一口大に切って煮ました。

武田はジョニーの婚約者であるエンジェルを奪ったので、とりあえずミンチにしました。

隣にいた田中は巻き込まれました。

そんな中、田中の友達である宇宙人が助けに来ましたが、途中で燃料がなくなり火星に不時着しました。

そんなことも知らないジョニーは新しい婚約者キャサリンと、カルボナーラを作っています。

そこでジョニーは気づきました。

肉ばかりで、麺がない。

ということで、ジョニーは不思議な国で麺を探しに行きました。

まず、着いたところでライオンに食べられました。

しかし、奇跡的に助かりました。

次に、馬に食べられました。

しかし、奇跡的に助かりました。

次に、タヌキのチャールズに食べられました。

しかし、それは分身でした。

ジョニーはタヌキのチャールズの皮をはぎ、一口大に切りました。

また、カルボナーラの材料にしようと思いました。

そうして、やっと麺の材料を集めることができました。

ジョニーは手打ちで麺を作り始めました。

なんと、うどんの麺ができました。材料がうどん粉だったのです。うどんは武田がおいしくいただきました。

武田は窒息死しました。

さて、困ったジョニーは不思議な国で麺を買いました。

家に帰り、またカルボナーラを作り始めました。

そして、そばができました。

ジョニーはそばアレルギーなので困ったものだ、首を傾げました。とりあえず、レンジでチン！してみますと焼きそばができました。

焼きそばは田中がおいしくいただきました。

田中は宇宙に行きました。

ジョニーはあきらめずに麺を探していますと、不思議な国で内戦がおこりました。

その後、セカンドインパクトが起きました。

そして、ジョニーとキャサリンはカルボナーラを作る旅へ出ました。いつか、おいしいカルボナーラができることでしょう。

タヌキのチャールズと武田と田中はなんとなく、そう思いました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8056y/>

不思議な国のカルボナーラ。

2011年11月23日22時53分発行